

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 日本エクスラン工業株式会社	住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒530-0004 大阪市北区堂島浜二丁目2番8号
----	------------------------------	----	---

本票作成部署名	日本エクスラン工業株式会社 西大寺工場 工務部
---------	-------------------------

主たる業種	分類コード	11	業種名	繊維工業
-------	-------	----	-----	------

事業の概要	アクリル繊維生産量：38,000トン/年 従業員数：300名
-------	--------------------------------

県内の主な工場等	番号	工場等の名称	所在地
	①	西大寺工場	岡山市東区金岡東町三丁目3番1号

特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)
------------	---

温室効果ガス排出量	基準年度(平成 21 年度)	(平成 25)年度排出量	目標年度(平成 26 年度)
	129,534 t CO ₂	121,449 t CO ₂	123,057 t CO ₂

主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(平成 25)年度排出量
	①	西大寺工場	121,449 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間：平成 22 年度 ～ 平成 26 年度 (5 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(25) 年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 3.4 %	5.0 %	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産数量(当工場の主たる製品を生産するために要するエネルギーの原油換算量を基準として、製品ごとに換算したものの数値)	原単位当たり排出量		
		基準年度	(25) 年度	目標年度
		3,092 t CO ₂ /(千t)	3,196 t CO ₂ /(千t)	2,937 t CO ₂ /(千t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(平成 25 年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

平成25年度の生産数量は年度を通じて順調に推移していたが、基準年(平成21年度)に比べ低下している。そのため、原単位あたりの排出量は増加し、総排出量としては減少という結果となった。この様な状況は、減産の他に生産形態の変化要因もあり、エネルギー使用量の比較的多い、高付加価値品の生産が増えていることが理由である。今年度は温室効果ガス削減の取組として消費電力の大きい空気圧縮機のインバーター化、送液ポンプの適正容量化等の省エネルギーを実施してきたが、減産の影響が大きく原単位あたりの排出量を改善するに至らなかった。

【推進体制】

- ①省エネ対策委員会：工場長を委員長、各部長を委員とする工場全体会議（年2回開催）
 ②工場長の現場点検：副工場長、環境、工務部長も同行し安全の他、省エネについても点検する（毎週開催）
 ③コスト改善委員会：原価低減策の一部として省エネ取組状況や効果の把握を行っている（毎月開催）
 ④環境保全委員会：各部の環境改善目標に対する実績把握等を行う、工場長・部長出席の会議（毎月開催）

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(平成25年度実施分) 西大寺工場	(平成25年度実施分) (1) 空気圧縮機 ・インバーター制御へ更新 (CO2削減量 140t/年) (2) 送液ポンプ ・能力に余裕があったブライン供給ポンプを適正容量に更新 (CO2削減量 37t/年) (3) 屋内照明器具をインバーター製品へ更新 (CO2削減量 8t/年)
(今後実施予定分) 西大寺工場	(今後実施予定分) (1) アクリル製造工程 ・紡糸廃熱交換器の編成見直し (CO2削減量 208t/年) (2) アクリル製造工程 ・補正水ポンプのインバーター化 (CO2削減量 58t/年) (3) 高圧変圧器更新 ・高効率型へ更新 (CO2削減量 56t/年) (4) 計装用空気脱湿機更新 ・省エネ型脱湿機導入 (CO2削減量 78t/年)

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	2003年に産業廃棄物焼却設備を設置した。以後、付属の廃熱ボイラーで発生した蒸気を工場へ送気することで廃熱の有効利用を図っている。
その他	無	

【その他特記事項】

(1) 2010年に自家用車（公用車）1台をハイブリッドカーに更新 (2) 空調用電力・蒸気節減のため、クールビズ・ウォームビズ運動推進 (3) 社内環境展を（1回/年）実施、省エネと環境負荷低減をPR		
---	--	--